

「実習指導案作成を通じた実習指導者と看護教員の協働」

○研究の概要

当院附属看護学校の実習指導者会議学習会企画である実習指導案（週）作成の過程を
まとめ、学習会の成果と課題を示す研究である。

○研究の目的と方法

① 目的

令和 6 年度に年 4 回の学習会で取り組んだ実習指導案（週案）作成の過程を
報告することで、実習指導者と看護教員の協働がどのように行われたのか、また、
どのような成果と課題が得られたのかを示すことでより良い実習指導につながる
ような意見を広く集めたい。それらをふまえ、実習指導者と協働して作成した実
習指導案を活用した実習指導がより充実することを目的に本研究に取り組む。

○本研究の参加について

実習指導者会議における学習会の実践報告について研究対象者から直接同意を
得ることはしないが、オプトアウトにより研究実施の情報公開を行い研究が実施さ
れることについて、研究対象者が拒否できる機会を保障する。

○調査する内容

令和6年度実習指導者会議学習会の企画書、提示資料、実習指導案、議事録等を
もとに、実習指導案（週案）作成がどのような過程で行われたのかを経時的に説
明する。また、成果物としての実習指導案（週案）や学習会に対する指導者評価
をもとに学習会の成果と課題を整理する。

○実施期間

研究対象期間：令和6年5月15日～令和7年3月まで

研究実施期間：倫理委員会承認後～令和7年12月20日まで

○研究の成果の発表

第23回国立病院看護研究学会学術集会（R7年12月20日開催）で発表できるよう研究に
取り組む。

○研究代表者

隈部 直子

○当院における研究責任者

隈部 直子

○問い合わせ先

熊本医療センター附属看護学校 TEL：096-352-5691 内線：2701